

システム性能検証サービス

【SPV : System Performance Verification service】

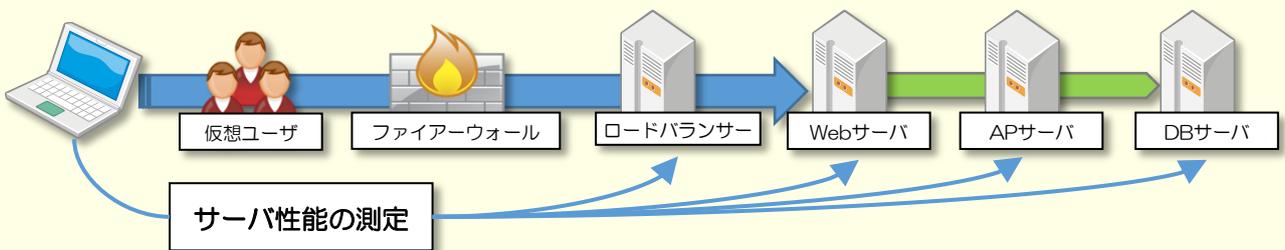
●●● 「テストアーキテクト」と「DB基盤スペシャリスト」が、DBサーバ基盤を分析します。 ●●●●

ヴェスのIVEC（IT検証技術者認定試験）認定「テストアーキテクト」とベンチャーコンサルティングの「DB基盤スペシャリスト」が、ソフトウェア要求の「非機能要件」に対するボトルネックを調査し、DBサーバに対する性能の詳細を分析します。

従来の性能検証では判定が難しかったDBサーバ基盤の詳細性能を、専門エンジニアが調査・分析し、性能に関する問題解決をお手伝いします。

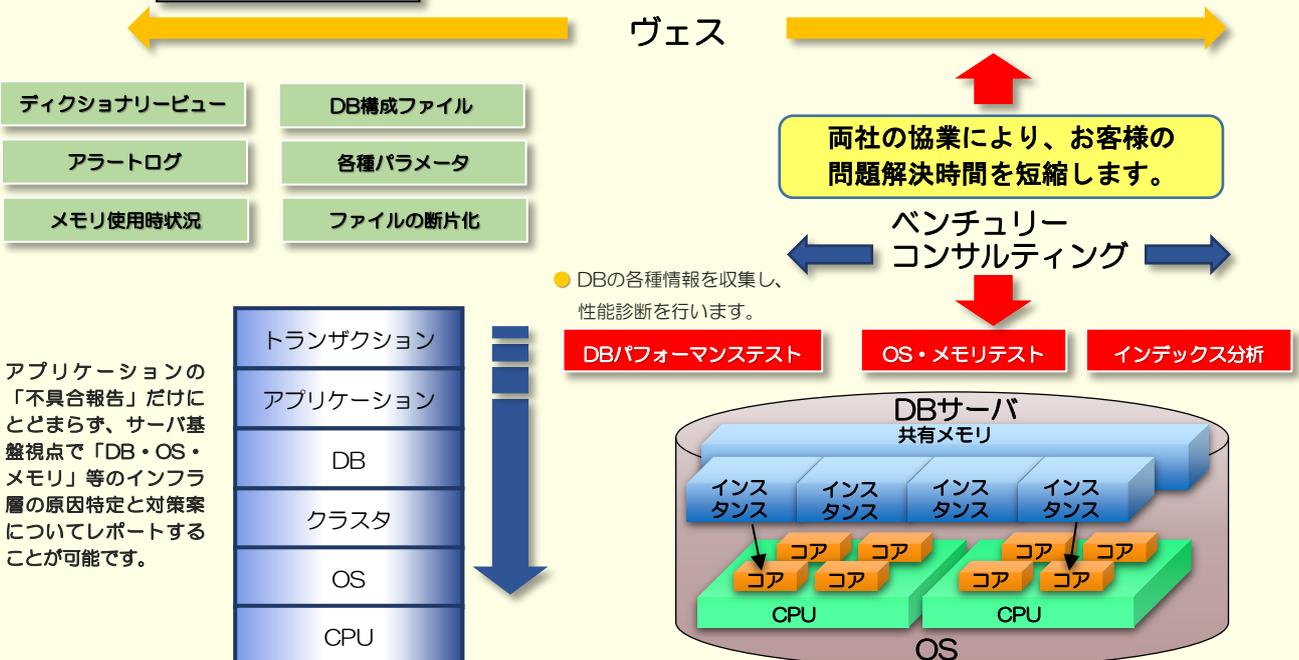
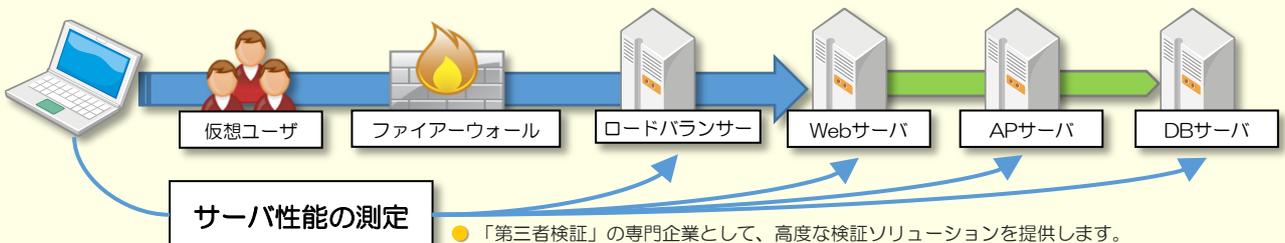
▼ 従来の性能検証サービス

従来の性能検証では、各サーバ（Webサーバ、APサーバ、DBサーバ）のレイヤでボトルネックが検出されます。



▼ システム性能検証サービス

システム性能検証サービスでは、各サーバ（Webサーバ、APサーバ、DBサーバ）でのボトルネックはもとより、DBサーバにフォーカスして問題を詳細に分析する事が可能です。また、DBサーバに対するパフォーマンス改善のご要望にもお応えします。



▼ 従来からのテストサービスとの違い

テスト会社	メリット	デメリット
従来のテストサービス	アプリケーションの「テストパターンに従った不具合」が判明する。	「不具合報告」だけで終了してしまう、問題の解決方法も不明である。
システム性能検証サービス	アプリケーションの「不具合報告」だけでなくとどまらず、サーバ基盤視点で「DB・OS・メモリ」等のインフラ層の原因特定と対策案についてレポートすることが可能。	

▼ システム性能検証サービスレポートの例

<p>株式会社 XXXYYY 御中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center; margin: 20px auto; width: 80%;"> <h3>システム 性能検証サービス レポート</h3> </div> <hr/> <p>DBサーバ (ホスト名) : xxxyydb01 対象インスタンス(SID_NAME) : xxxyyy オラクル製品バージョン : Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.3.0 - 64bit Production Patch情報 : 11.2.0.3.0</p> <hr/> <p style="text-align: center;">20XX年Y月Z日</p>	<p>本書は、20XX年Y月Z日に取得させて頂いたDB統計情報を元に、分析作成した「アプリケーション性能検証」結果のレポートです。</p> <p style="text-align: center;">- 目次 -</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Alert.logについて <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ALERTログファイルの過去ログの調査 2. メモリ使用状況の調査 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 共有プールエリア 2-2 データベースバッファ 2-3 REDOログバッファ 3. DB構成ファイルの妥当性の調査 <ol style="list-style-type: none"> 3-1 UNDOセグメントの設計、記憶容量パラメータに関する考察 3-2 REDOログファイルの大きさ、量、配置に関する考察 3-3 表領域の配置、記憶容量パラメータに関する考察 4. ファイルの断片化、パフォーマンス劣化の調査 <ol style="list-style-type: none"> 4-1 データファイルの断片化の度合 5. 今後のご提案 <ol style="list-style-type: none"> 5-1 専用サーバ構成、共有サーバ構成の検討 5-2 STATSPACKによる性能分析 5-3 SQL チューニング 5-4 インスタンスチューニング (メモリ周り、その他の初期化パラメータ) 5-5 DBメンテナンス (保守)
--	--

▼ 検証対象データベース

Oracle (7, 8, 8i, 9i, 10g, 11g, 12c)	SQLServer
MySQL	PostgreSQL